



“自分のまち”に 住んでいる実感

ゆりのき台
くろかわ やすのり
黒川 保則さん

入居者がまだ少なかった頃に移り住み、今年で34年。このまちが大好きです。そんなまちに住み続けられるよう何かしたいと、自治会活動に参加してきました。活動を通じて、不便や不安のない生活ができてるのは、支えている人がいるからだと感じます。

一方、忙しい中、区・自治会の活動を負担に感じる気持ちも分かります。そのため少しでも手間を減らせるよう、効率化や改善を進めています。

次の世代も「ここに住みたい」と思えるまちを守る力になりたいです。



人と活気に触れて 住みたいと思った

天神(西区)
ありた けんたろう
有田 健太朗さん

西区は宅地開発により、数十軒から約370軒へと一気に世帯が増えました。

8年前に移住しましたが、初めは区・自治会には未加入でした。「ここに住み続けたい」と思ったきっかけは宵宮(祭り)のだんじり。住民一体となって生み出す活気に感動したことでした。今では区の一員として、だんじりや神楽に参加しています。

他にもイベントを通じて知り合いが増えたり、防災・防犯の活動があることが、暮らしの豊かさや安心につながっています。こうしたつながりを、将来にわたって大切にしたいと思っています。



「あるのが当たり前」 から「どう残すか」へ

東野上
たけうち ゆうじ
竹内 裕二さん

世帯数が20軒程と小規模で、代々暮らしている人が多い地区です。皆が顔見知りの近所付き合いが日常。「お互いさま」が当たり前で、区・自治会の存在をあえて意識していませんでした。

しかし、区・自治会の役員を経験すると、実は年長者が、地区での暮らしがうまく回るよう調整してくれていたことを知りました。

この暮らしを守り続けるため、今後はこれまでの良いところをしっかりと受け継ぎながら、これからの区・自治会の在り方を、自分たちで考え、共有しながら引き継いでいきたいです。

一人一人の参加が、地域の力に

区・自治会は、安心な暮らしを支える身近な存在です。自分たちの暮らす地域だからこそ気付けること、できることがあります。「できるときに、できることから」。あなたの一歩が、大きな力になります。



特集2

いつものつながりが、
わたしたちの安心になる。

生活環境の維持、
見守り、お祭り、防災—
何気ない日常を支えている
のが、区・自治会*です。

問い合わせ＝地域づくり推進課(559-5039 FAX 562-3555)

*三田市には、地域により「自治区」「自治会」などの自治組織があり、この特集では総称して「区・自治会」と表記します。

日々の暮らし。それって「当たり前」?

水や空気のように「当たり前」の存在ほど、その大切さには気付きににくいもの。私たちの安心・平穏な暮らしは、区・自治会など、人と人とのつながりや活動によって支えられています。



小さな交流から、 大きな支え合いへ

祭りや催し、美化活動などを通じ、いざという時にも大きな力になる、世代を超えたつながりを創ります。



暮らしを支え、 日常を守る

ごみステーション管理など、暮らしに欠かせない快適な生活環境を支えています。

区・自治会は
身近なところで
たくさん



地域で守る、 こどもの安全と成長

登下校の見守りや声掛けなど、こどもの安全を地域全体で守ることで、安心や健やかな成長を支えます。



普段のつながりが、 大きな力に

災害がいつ起きても地域で助け合えるよう、防災訓練や資機材の管理など、日頃から備えています。



地域の困りごとを、 ともに解決

日々暮らしているからこそ気付ける地域課題の解決に向け、行政や団体と連携し取り組んでいます。

しかし、価値観の多様化などにより、近所付き合いが希薄になり、こうした支え合いの仕組みが維持できなくなることが懸念されています。当たり前の日常を守るため、今一度、自分が住む地域のことを考えてみませんか。